

【オリコンサルグローバルが施工監理担当 パッケージ2工区が竣工  
比カガヤン・デ・オロ川洪水リスク管理事業】

## パッケージ 2工区が竣工

比カガヤン・デ・オロ  
川洪水リスク管理事業

フィリピン・ミンダナオ島  
のカガヤン・デ・オロ市でオ  
リエンタルコンサルタンツグ  
ローバルが施工監理を担当す



記念碑除幕式（写真中央：比公共事業  
道路省のボノアン大臣）

施工監理〃オリコンサルグローバ  
ル、施工〃東洋建設

る「フィリピン国カガヤン・  
デ・オロ川洪水リスク管理事  
業」パッケージ2工区の竣工  
式が5月26日、同国公共事業  
道路省のボノアン大臣らが出

席して開かれた。

同事業は、カガヤン・デ・オ  
ロ川河口から10<sup>km</sup>の区間を対  
象に、洪水対策用の連続堤防  
や併設道路、親水遊歩道など  
を建設する。ODA（政府開  
発援助）有償資金協力で借款  
額は115億7600万円。

2023年末の工事完了を予  
定している。このうち、河川  
堤防2・3<sup>km</sup>を建設するパッ  
ッケージ2工区では、東洋建設  
が静的サンドコンパクション  
工法を採用して施工した。

同川下流に位置するカガヤ  
ン・デ・オロ市は、ミンダナ  
オ島第2の都市で北部ミンダ  
ナオ地域の中心都市。フィリ  
ピンメトロ圏の指定も近く予  
定されるなど、今後さらなる  
経済発展が見込まれている。  
一方でこれまで十分な洪水対  
策がとられておらず、11年12

月に発生した熱帯暴風雨セン  
ドンでは壊滅的な被害を受け  
るなど、同川流域での洪水対  
策計画の見直しと河川改修事  
業の実施は同国政府での喫緊  
の課題となっていた。